

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		平成17年度		根拠法令・規程等	該当なし
事業開始年度	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
総合計画	大項目	基本施策	01	豊かな食を支えるまちづくり	農林水産課
	中項目	施策	01	農業	
事務事業名		18	担い手等後継者育成事業		管理係長 大道健一 電話 0869-64-1831

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	農業者
目的 (何のために)	農業後継者等、担い手の育成・確保。
行政活動 (どのような方法で)	担い手を育成・確保するため、新規就農者への支援体制の整備を図るとともに、後継者の発掘に努める。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	新規就農者（特に39歳以下）の確保に努め、農業後継者を育成する。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	就業奨励金支給事業補助金	円	0	100,000	0
実績	結婚推進協議会助成金	円	0	250,000	250,000
	国 県 支 出 金	千円		50	
受 益 者 負 担 金					
財源	総 入 金	千円			
	市 債				
その他	一 般 財 源		2,358	1,706	1,009
	受 益 者 負 担 比 率	%			

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	就業奨励金支給件数	件	0	1	0
結果指標②	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	対前年対比	%	-	1	0.0%
活動コスト	活動コスト	円	2,358,000	1,756,000	1,009,000
	単位当たりコスト	円	#DIV/0!	1,756,000	#DIV/0!

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	就業奨励金支給件数	1	1	1	毎年度1人
	実績値 (B)	0	1	0	到達目標年度
	達成率 (B/A)	0%	100%	0%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
年齢39歳以下の新規就農者					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 農業者の高齢化が進み、担い手不足が深刻化している中で、本事業の実施は妥当である。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託等）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> 判定理由・課題認識 補助金交付にかかる事務作業等において、最適な手段を検討し、コスト削減に努める。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> 判定理由・課題認識 担い手の育成・確保は遊休農地の増加の抑止にもつながり、農業振興を図る上で有効である。また、結婚推進協議会は市民で構成されており、市民参画度は高い。

平成21年度の状況		結果指標量②		成果指標量	
目標値	結果指標量①	1	1	1	1
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
			○		
説明	平成19年度においては就業奨励金支給対象者がおり、今後も事務手続等の効率性の向上を図りながら事業を実施していく。				

総合評価		評価区分<A~E>
農業者の高齢化による担い手不足が深刻化する中で、遊休農地の増加等、様々な問題が懸念されている。こうした状況の下、本事業の実施により、担い手を育成・確保することは、農業振興を図る上でも有効であると考え、また、その中で、補助金交付にかかる事務作業等において、最適な手段を検討し、コスト削減に努める。		B 

平成22年度以降の方向性・内容		結果指標量②		成果指標量	
方向性	結果指標量①	1	1	1	1
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
			○		
説明	本事業の実施により、担い手を育成・確保することは、農業振興を図る上でも有効であると考え、現状を維持し、新規就農者等の掘り起こしを行う。				
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果	
	効率性	関係機関との連携を密にし、新規就農者等の掘り起こしを効率的に行う。	随時	効率性の向上	